

新フェローの紹介

茨木 俊秀 (いばらき としひで) 氏

昭和15年9月29日生

現住所 京都市左京区北白川
西伊織町7-2

学歴 昭和40年 京都大学工
学部修士課程電子工学専攻修了
昭和45年工学博士

職歴 昭和42年2月イリノイ
大学コンピュータ科学研究員

昭和44年5月 京都大学工学部数理工学科助手

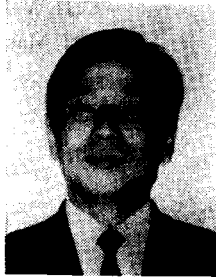
昭和48年4月 同助教授

昭和58年4月 豊橋技術科学大学情報工学系教授

著書 しきい論理(共著, 産業図書), 組合せ最適化の
理論(電子通信学会), 最適化(共著, 岩波書店), 組合せ
最適化(産業図書), その他

OR学会関係 評議員昭和53年~58年, 研究部会・数
理計画法主査昭和54~56年, 編集委員昭和60年, 第1回
文献賞受賞

茨木氏は, 数理計画を中心として優れた研究業績によ
り, 昭和48年に本学会第1回文献賞を受賞された後も,
引続いて, この分野でのすぐれた研究成果を発表される
とともに, 研究部会の主査として共同研究を推進してこ
られました。また運営面では, 関西支部において多大の
ご尽力をいただいております。



島田 俊郎 (しまだ としろう) 氏

経歴 大正6年2月26日生

昭和18年 東京帝国大学工学
部航空学科卒業

昭和23年 東京大学工学部大
学院特別研究生修了

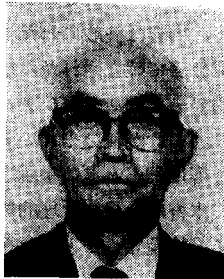
昭和27年 山梨大学学芸学部
専任講師

昭和28年 明治大学商学部専
任講師

昭和38年 商学博士(明治大学)

昭和39年 明治大学商学部教授 現在に至る

昭和41~42年 ハーバード大学 Honorary Research



Associate

昭和50~55年 明治大学計算センター所長

OR学会関係

昭和47年 第6回 IFORS(ダブリン)にOR学会選定
論文発表

昭和48~52年 システム・ダイナミックス研究部主査

昭和52~53年 理事

昭和53年第8回 IFORS(トロント)OR学会代表団長

昭和59年~ 監事

島田氏はシステム・ダイナミックスの研究・応用・普
及に関して, 幾多の業績を上げられ, ORの発展に多大
の貢献されるとともに, 長年にわたり本学会の運営にも
多面にわたってご尽力をいただきました。

権藤 元 (ごんどう はじめ) 氏

昭和2年8月26日生

現住所 広島県佐伯郡廿日市
町上平良1540-5

学歴 昭和26年3月 広島文
理大理学部数学科卒業

職歴 昭和26年4月 中国配
電(中国電力前身)入社調査室勤
務

昭和40年2月 中国電力企画室調査役補佐

昭和43年2月 同総合機械化準備室副調査役

昭和56年6月 同総合企画室第一企画室総合機械化セ
ンター所長

昭和59年2月 同総合企画室第一企画室部長

昭和59年4月 近畿大学教授(工学部経営工学科)

OR学会関係

評議員 昭和42~60年

理 事 昭和46~47年, 57~58年

権藤氏は本学会設立当初からの会員で, 中国四国支部
設立に当っては, 支部幹事として多大な努力を払われま
した。また長年中国電力に勤務され, 電力会社へORの
導入・普及に尽力されました。特に, 電力会社関係の全
国的研究グループである電力部会発足当初にはその活躍
めざましく, その後の同部会隆盛の基を培われたといえ
ます。



高橋 浩一郎 (たかはし こういちろう) 氏

大正2年5月3日 東京生
現住所 東京都世田谷区成城
6-26-15



学歴 昭和11年3月東京帝国
大学理学部物理科学卒理学博士

職歴 昭和11年4月中央気象
台に入る。その後、中央気象台
予報課長、気象研究所員、気象
庁長期予報管理官を経て

昭和39年 気象研究所予報研究部長

昭和43年 札幌管区気象台長

昭和45年 気象庁予報部長

昭和46年 気象庁長官

昭和50年 筑波大学教授

昭和52年 定年退官、その後気象大学校講師、早稲田
大学講師を務め

現在 日本気象協会副会長、気象庁気候問題懇談会会
長、科学技術庁参与

昭和44年 日本気象学会より藤原賞

昭和55年 運輸大臣より交通文化賞

著書 気象統計(河出書房)、動気候学(岩波書店)、総
観気象学(岩波書店)、災害論(東京堂出版)、天気予報の
科学(NHKブックス)、生存の条件(毎日新聞社)、また
同氏は寺田寅彦教授の最後の弟子になられます。

高橋氏は本学会設立と同時に評議員として、また、昭
和34、35年度に理事として学会の基礎作りに貢献されま
した。また、長年にわたって気象学、天気予報へのOR
の導入、普及に尽力されておられます。

矢部 眞 (やべ まこと) 氏

大正11年9月28日生
現住所 東京都渋谷区神宮前
5-1-7



学歴 昭和20年9月 東京大
学第1工学部機械工学科卒業

昭和53年6月 工学博士(東京
大学) 昭和38~39年 フラン
ス政府給費技術留学生(グル
ノーブル大学、フランス国鉄)

職歴 昭和21年8月 運輸省運輸局保安課に奉職
昭和47年3月まで、日本国有鉄道東京鉄道局、本社工作
局、本社審議室、中央鉄道学園等の管理職を歴任後、退職
昭和47年4月 新日本製鉄株式会社生産管理部嘱託

1985年9月号

昭和51年3月 退職

昭和42~57年 東京大学工学部講師(非常勤)

昭和47~52年 法政大学部経営工学科講師(非常勤)

昭和47年 工学院大学生産機械工学科講師(非常勤)

昭和48~52年 足利工業大学経営工学科主任教授(昭
和52年以降客員教授)

昭和52年 工学院大学生産機械工学科教授

昭和58年 同大学機械系主任教授 現在に至る。

著書・訳書 経営工学講座第10巻“オペレーションズ
・リサーチの実例”(共著)共立出版 他多数

OR学会関係

理事(会計担当) 昭和44~45年

評議員 昭和45~52年

研究普及委員 昭和47~51年

表彰委員 昭和47~50年

矢部氏は本学会設立当初から学会運営に積極的に参加
されるとともに、国鉄におけるOR実施・普及の基礎作
りに努力され、さらに本学会の研究部会“交通システム”
“PPBS”“交通問題”等の主査としてこの分野の研究の
発展に尽力されました。

柳井 浩 (やない ひろし) 氏

昭和12年1月18日 東京生
現住所 東京都港区白金4-
6-17-205



学歴 昭和39年 慶応義塾大
学工学部 工学研究科博士課程
修了、昭和42年 工学博士、
昭和49~50年 A. v. フンボル
ト留学生) 西独ハンブルグ大学
応用数学科)

職歴 昭和37年 慶応義塾大学工学部助手(管理工学
科)、昭和43年 同 専任講師、昭和47年 同 助教授、
昭和56年 同 教授

OR学会関係

庶務幹事、ORSJ編集委員、庶務担当理事、編集担当
理事、評議員等、第1回大西文献賞、第3回事例研究奨
励賞

著書 経営数学入門(訳)講談社、Triple Diagonal
Matrix (Keio Univ.)、数学の図解 共立出版社、OR
ワークブック(編集・共著)日科技連

柳井氏は第1回大西記念文献賞、第3回事例研究賞の
2つの学会賞を受賞する等活発な研究活動のかたわら、
長年にわたり本学会の幹事、委員、役員等と歴任、学会
運営の重要な中核としてご活躍いただいております。